

事業所名            デイサービス・ご豊楽みつけ

運 営 推 進 会 議 開 催 報 告 書

開催日時 平成29年7月26日(木) 15時30分～17時		
参加者		議 題
利用者	0名	1 活動状況報告
利用者家族	1名	2 活動状況の評価、助言及び要望
地域住民の代表者	3名	3 地域との連携・交流に関する意見交換
市職員	1名	
地域包括支援センター職員	1名	
事業所	1名	
会 議 録		
<p>1 活動状況報告</p> <p>(1) デイサービス・ご豊楽みつけの概要</p> <p>事務局から次のとおり説明した。</p> <p>そもそもデイサービスとは、関係法令を簡単にまとめると次の二つの目的を持った施設である。第一に、機能訓練等を通じて高齢になってもできるだけ自分のことは自分で出来る状態で、自宅で生活を続けることを支援すること。第二に介護者の負担を軽減することである。</p> <p>どのデイサービスもこの目的を達成するために様々な取組をしているが、どの部分に着目し、どのようなアプローチをするかによってそれぞれの施設の特徴が出てくる。</p> <p>では、ご豊楽みつけはどうかというと、次のとおりである。</p> <p>ア 高齢者の在宅生活が困難になる要因3つに主としてアプローチする</p> <p>イ エビデンスに基づいたプログラムに取組み、客観的で明確な指標に基づいて成果を評価する</p> <p>ウ 上記イを少人数を対象に、丁寧に行う</p> <p>エ 上記イ及びウを、落ち着いた雰囲気の中で、楽しく、無理なく行う</p> <p>(2) 事務局からレジюме及び資料1～6に基づき具体的な取組を説明した。</p> <p>ア 身体機能の低下に対する4つのアプローチ</p> <p>イ 認知機能の低下に対する3つのアプローチ</p> <p>ウ 認知症の行動・心理症状に対する2つのアプローチ</p> <p>(3) 事務局から定員、スタッフの配置や営業日等について説明した。</p> <p>ア 定員は10人である</p> <p>イ スタッフは一日当たり管理者1名のほかに、生活相談員1名、介護職員又は看護師(兼機能訓練指導員)2.5～3人、調理職員1名と</p>		

比較的手厚く配置している。

ウ 営業日は月曜日から土曜日（祝祭日営業）。年末年始は休業。活動時間は午前9時から午後4時10分まで。

エ 緊急やむを得ない場合はお泊りサービス（自費）も受入れている。

(4) 事務局から次のとおり説明した。

ア 利用者総数は7月1日現在で25名（軽度者20名、中重度者5名）

イ 介護度が維持又は改善され、長く通ってくださる方が多いのが特徴

ウ このため、よく知った間柄になり、お互いは励まし合ったり、助けあったりして過ごしている

エ 利用実績は、6月で延べ228人。一日平均8.8人。

## 2 活動状況の評価、助言及び要望

### (1) 御利用者又は家族代表

家に引きこもりがちで口数も少なかった母が、通所を始めてから、いろいろなことに興味を持つようになり、自分がびっくりするようなことも知っているようになった。また、学習用ドリルを買ってきてほしいと言ったり、圧力鍋を使えるようになって調理の幅が増えるなど意欲も向上した。デイに来ているときは歩く練習にもしっかりと付合ってもらい、おかげで旅行に連れて行くことができた。旅行中も最初は車いすを使っていたが、途中から自分で歩くことができた。いまお話を聞いていても、一人一人に合わせた的確で丁寧な対応をしてくださっていると感じる。すばらしいところにお世話になって、ただ感謝している。

### (2) 地域代表、福祉事業等関係者

ア 正直なところ、デイサービスとは何か、他の種類のサービスとどう違うのかよくわかっていなかったが、今日はとても勉強になった。このような情報がきちんと地域に伝わっていないとするととても勿体ないことだと思う。介護施設というものは地域にとっても暮らしを支えていくための財産だと思うので基礎的な部分の情報を、わかりやすい言葉で伝えていくことが必要だと思う。

→やすらぎ地域包括支援センターより、包括としても地域の施設を見学に行くなどして、それぞれの施設の特徴などを把握するようにしている。それらの情報は、相談があった場合に活用しているし、地域に向けて出張講座なども開催しているので、ぜひ活用してほしいとの補足。

イ 自分も親に特養に入所してもらった経験があり、デイサービスのこともある程度知っていたが、こんなにいろいろなことを専門的にやってくれるのかと、デイサービスのイメージが変わった。介護する側の職員の健康管理にも注意して、これからも頑張っていってほしいと思う。

ウ 自分の知合いも認知症になっており、関心があるので今日の話は、非常に興味深かった。

また、他県の話だが、若年者、高齢者、障害のある人、病気の人など、どんな人でもコミュニティの一員として、分隔なく暮らし、地域社会に貢献できる街づくりを進めていっているところがある。こちらのデイサービスも、地域の一員として交流を深めてほしい。

それから、今日の本題ではないと思うが、高齢者の施設にとって防犯・防災も非常に重要なテーマだと思うので、それについても地域と協力してしっかり取組んでほしい。

最後にこの施設の話ではないが、市の方や包括の方も来ているので一言付加えると、介護に関する情報は広報などでいろいろと情報提供をしてもらっているところだが、ときどき記事になっていても十分に周知されていないことも見受けられる。地域に情報を上手に伝えるということが大切だと思う。

### (3) 地域包括支援センター

地域にはいろいろな介護施設等があるが、地域包括支援センターではそれぞれの施設を訪問するなどして特徴を把握し、介護サービスが必要な人に適宜提供しているところであるが、こちらのデイサービスはスタッフの対応がよく、アットホームな雰囲気と相まって、私が知っている利用者もここに来ると元気になるから、家に帰ってまた頑張れると話すなど良い循環を産みだしていると思う。

先程地域への情報提供の話が出たが、地域包括支援センターとしても今後とも努力していくので、ぜひご協力をお願いしたい。

### (4) 瀬戸市

説明を聞いていて、エビデンスに基づく対策や、その成果を客観的な指標で評価してケアにも反映していくといった点、利用者のできることを増やしていく点、利用者や家族の状況を細かく把握してそれぞれの段階に応じた対応をとっている点、それに事業所の中のことだけを考えているのではなく、自宅に帰った後のことまで考えているといった点は、いま介護に求められている方向性と一致しており、良いと思う。地域とのつながりもできはじめているようで、それを大切にしていってほしい。

